

2000誌 に せ ん し

第27号
発行(社)鹿児島県建築協会
青年部会
鹿児島市城山町2-13
TEL(099)224-5220



青年部会長
吉満 祐市

私は今年で年男となる年齢であるんですが、かの論語で

孔子は晩年に自分の人生を振り返って「五十にして天命を知る」と話された歳に近づいてまいりました。

天命の解釈は「天から与えられた使命」とか「運命や宿命」とも言われていますが、あるコラムの中では「空」の心と表されている方もいらっしゃいました。

人は生きていくのではなく、生かされていると考えると、この年齢からの生き方が見えてくる。残りの方が少なくなってきた人生のこれからは、私心を捨て、天に与えられた使命、即ち「空」に尽さなければならぬと書き綴っていらっしやいました。

なるほどと思ひ、「空」に尽くすこととはなんだろうと考えてみると、知識と経験の積み重ねが大事ではない

かと思ひました。多方面にわたる知識で諸問題に取り組み、多くの経験があることで実現を示唆できます。必要ではないかと考えられます。

「空」における自分の役割を果たすためには、色々なことを学んでいなければ必要とされないんだなと思いつつ、急いで多くのことを勉強しなければと改めて感じた次第でした。

おかげさまで、今期の青年部会も折り返しに入りました。昨年度の反省も踏まえて、後半におきましても活動を充実させていきたいと考えております。

部会員の皆様方の「空」に役立つスキルとなることと、その情報を共有する部会員間のさらなる交流と、協会全体に波及する貢献を目指して頑張りたいと考えております。

よろしくご指導をいただけますようお願いいたします。

総務・IT委員会



総務・IT委員長
木落 孝作

委員長
となり2
年目の総務・IT委員会の事業が始め

まりました。

昨年同様4月の定時総会 懇親会の運営から始まりましたが、親会理事役員、青年部会OB、事務局をお招きして委員会メンバー、青年部会員の皆様のご協力により無事開催出来ました。誠にありがとうございます。これからも会報2000誌や協会だよりの寄稿掲載など引き続きのご協力宜しく願ひ致します。

IT部門では6月頃にホームページをリニューアルする予定ですが、中身に付いては正直頭打ちで悩んでいるところがあります。一部の方では連絡や情報交換の場として活用されていますが、私の力不足で会員全体に浸透せず、それ以外の活用に余り至っていません。会員の皆様で何か良いアイデアがありましたらどしどしご意見下さい！

最後になりますが、今年度は時期役員の承認事業である臨時定時総会もありますのでなんとか良い形で次年度の委員長さんに引き継ぎ出来ますように委員会メンバーと共に努力して参りますので、今後とも会員皆様のご意見、ご指導、ご協力の程、宜しく願ひ致します。

会員研修委員会



会員研修委員長
川崎 啓二

去年に引き続き今年度も会員研修委員長を

仰せつかりました川崎と申します。宜しくお願いします。

事業計画としまして、去年に引き続き会員拡大と経営者講習会を計画しております。去年は大隅地区の会員拡大として鹿屋の方で事業を行いました。

今年度は始良伊佐地区 鹿児島市内地区を予定しています。近年良いニーズが少ない建築業界を青年部の若い力で盛り上げていきたいと思ひます。

また、経営者講習会は青年部会と

同世代の方をお呼びしてこれからの経営に少しでも糧となるような、そして、活力溢れるような講習会にしたいと考えています。

今年度は過去最大の大震災の年となりましたが、鹿児島という離れた地からパワーを日本中に発信していきましよう。頑張れニッポン!!!

活動委員会



活動委員長 中村 一人

今年度 委員会 として動 き出して 四カ月が

経ちました。とはいえ、二年目ということもあり、事業への取組み方・目標がはっきりしている分焦りが無いような気がします。

今年度も活動委員会の事業の中心は「住まいと建築展」への中学・高校生招待及びブースの出展です。その中でも、昨年出来なかった奄美の中学生の招待は何とか実現したいと思えます。それにより、進路を決める前の学生が一人でも多く、建築に興味を持ち、この業界への進路選択をしてもらえればと思うからです。

ブース出展に関しても、昨年設けた以外のコーナーも考え、イベントを盛上げる一翼になればと思います。

地域社会に対するボランティア活動の企画運営が青年部会の活動委員会の目的です。

これを踏まえて、委員会全員で建築という観点から再度見直し、活動を行っていきたいと思いますので、より一層のご指導とご協力をお願い致します。

私も一言



総務・IT委員会 委員 石野田 洋昭

先ず もって、 委員会出 席がまま ならず(迷惑をお

かけてスイマセン。

さて、6月5日(日)の私の1日を振り返ってみました。どうでもいい事なのですが、AM6:00より霧島市商工会議所青年部主催の「ゴミ拾い」の為、AM3:00起床 早く起き過ぎてしまい残念)雨が強かったので中止かと思いきや決行するとの事、雨の中1時間程度のゴミ拾いを済ませた後、おにぎりとお味噌汁を

頂きました。商工会議所さんに感謝です)その足で、霧島青年会議所 次代への架け橋委員会)の事業 親子キャンプ 7/23・24)のチラシ

仕分けをお手伝い。枚数が半端じゃない。ヤラレタ(…) AM9:00には霧島市商工会青年部単人支部にて「鮎まつり」の準備。雨がますます強くなる中、これではさすがに中止だろうと思いつつながらの準備中、まさかのアナウンス! 雨天決行します。」

土砂降りでも遠のいた会場にて、しくしくと屋台を営業) PM2:00、販売を断念し撤収作業。朝3時起きのにムチを入れながら最後のひと踏ん張りと思ったのですが、忘れていました(…)子供との約束を。PM3:00より仮面ライダーの映画を観に行かねばならないので、後は優しい青年部員のみんなにお任せして逃げるように帰宅)映画を観ながら爆睡するのでは?と心配しましたが、子供より興奮し昔の仮面ライダーに見とれてしまいました。

時刻はPM7:00をまわり疲労困憊。幼稚園PTA資料をなんとか作成し、いつ眠りについたのかわからず朝を迎えてしまいましたとき。おしま

い。意味不明な文章ですが、健康第二 皆さんお体には気をつけて下さい



会員研修委員会 委員 福満 吉純

会員研 修委員会 の福満吉 純と申し ます。皆

様宜しくお願い致します。

東北大震災から早、3カ月が経ちました。この3カ月間テレビや新聞などで色々な情報が出ておりますが、避難所での生活、街の変わりようといった本当にすごいものです。そして、中々変わっていかない現状と、何もできない自分、色々な思いが込みあげてきます。

しかし日本、そして世界の一人一人が日本の為に色々な事を始めようとしていきます。今までの自分たちの生活が、いかに贅沢で有難いかを改めて考えさせられます。それから沢山の「もの」の大切さ。簡単に物を捨てない、食べ物を残さないなど、忘れていた事が沢山あるのではないのでしょうか。私も、小さな事でも始めてそれを継

続いていきたいと思えます。子供も生まれ、これまでの自分よりこれからの自分が父親として家族の為に頑張れたらいいです。これからの生活、今見えている問題に少しでも答えられるよう努力していきたいと思えます。



**活動委員会
委員
伊地知 忠**

3月1日 東北大震災が起ってから3ヶ月たつてしまいましたが、今だに行方不明者が数多くいる事が痛恨極まる。我々が出来ることと言ったら多寡が知れてるが、中には東北までボランティアに行かれた方もいるかもしれない。頭が下がる思いです。

実際この震災や、福島原発事故が起きて日本人の良い面や悪い面が見え隠れというか浮き彫りになってきたような気がする。

自分の家族が行方不明なのに避難所で炊き出しの手伝いをしている主婦がいたり、メジャーじゃないミュージシャンがその地区の復興のリーダーとなり全国の友達から支援物資を送ってもらったりしている。

はたまた、自分も被災者なのに、まだ支援物資が行き届かない所に持つて行ってあげたりしている人もいた。ごく普通といっても良いのか当たり前といつて良いのか、一般の常識のある人間ならばこういった災害に遭ったなら愚痴を言わずに歯を引き締めて、気持ちをしっかりと持ってこれから自分の出来ることを一つ一つクリアして行こうと思うはずと私は思う。

それに引き換え、東電や政治家の皆さんときたら全くもって何と言う事なのか。理解に苦しむじゃなくて理解できない。なぜ、ああいった風になつてしまうのか 何処の誰を基準にし、まず何をしなければならぬのか」この最初の考え方が、ずれ過ぎていんじゃないだろうかと思ってしまう。

さて、愚痴ってばかりではどうしようもないので 一言だけ私の好きな言葉ですが、天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず『思いやりを持って日々皆様と接していきましよう。』

合掌

新入会員紹介



前田 忠倫
 ㈱前田組
 総務・IT委員会



森 幸広
 森建設㈱
 活動委員会

総会・懇親会スナップ

